

# 夢と希望をはぐくむ県南の教育 ～学力向上を目指して～

## 学校教育課通信

令和3年11月10日 第171号  
編集・発行：県南教育事務所 鈴木正和

全国学力・学習状況調査の結果分析を行い、日々の授業改善に努めていることと思います。以下は、県南域内の対策や今後の対応を示したものとなります。さらなる学力向上に向けて参考としていただければと思います。



### 児童・生徒質問紙の結果に見る県南地区の強みと課題

#### 県南の強み（よさ）

◎学級活動や道徳科の授業における話し合いが活発になされています。児童生徒が互いの考えを伝え合うことにより、考えを共有したり、比較・検討したりする場を大切にしています。

◎キャリア教育や生活科・総合的な学習の時間を中心に地域に根ざした教育が進められています。



#### 県南の課題と対策

○平日1日あたりの学習時間は、福島県の結果と比べて短い傾向にあります。

再度、ふくしまの「家庭学習スタンダード」の確認・活用を図り、自己マネジメント力をつけていきましょう。

～家庭学習スタンダードより～

取組1 教員間で共通理解を図り指導します。

取組2 授業と家庭学習をつなげます。

取組3 内容・方法を指導します。

取組4 協力・連携体制（小・中・保護者）を築きます。



### 全国学力・学習状況調査で成果が見られた学校の取組

○どの教科においても、授業時間に自分の考えを必ず書く時間を設けています。考えの根拠となるものを大切にするように指導しています。

○全国学力・学習状況調査は全教職員で問題を解いています。問題を解くだけでなく、何が問われているのかを全員で分析することによって、他教科（理科・社会・英語・音楽・体育・美術）でも、どこでどのように問題を解く力をつけていけばよいかを考えています。

○全校統一して、朝自習の内容を決めて実施しています。前日に出された宿題の丸付けから、朝自習に取り組むという流れが全校生できています。

○中学校ですが、全教職員で校内研修会を実施しています。教科関係なく、全職員で指導案を検討し、授業を参観し研修を深めています。

○どうしてその答えになるのか理由を言語化したり、活用力育成シートや全国学力・学習状況調査の問題を取り入れたりしながら、授業を行っています。

○家庭学習は、ぐるぐるノート（グループでノートを回す）を行い、子どもたちが友達の家庭学習の内容を見ながら、進めています。友達の良い内容に感化されているようです。

○授業では、振り返りを大切にしています。授業の最後の10分間は「振り返りの時間」を必ず確保するようにしています。どの教科でも共通して取り組むようにしています。

○マス目付の用紙を準備し、20字、40字、60字、80字と分量を変えて自分の考えをまとめる時間をとっています。